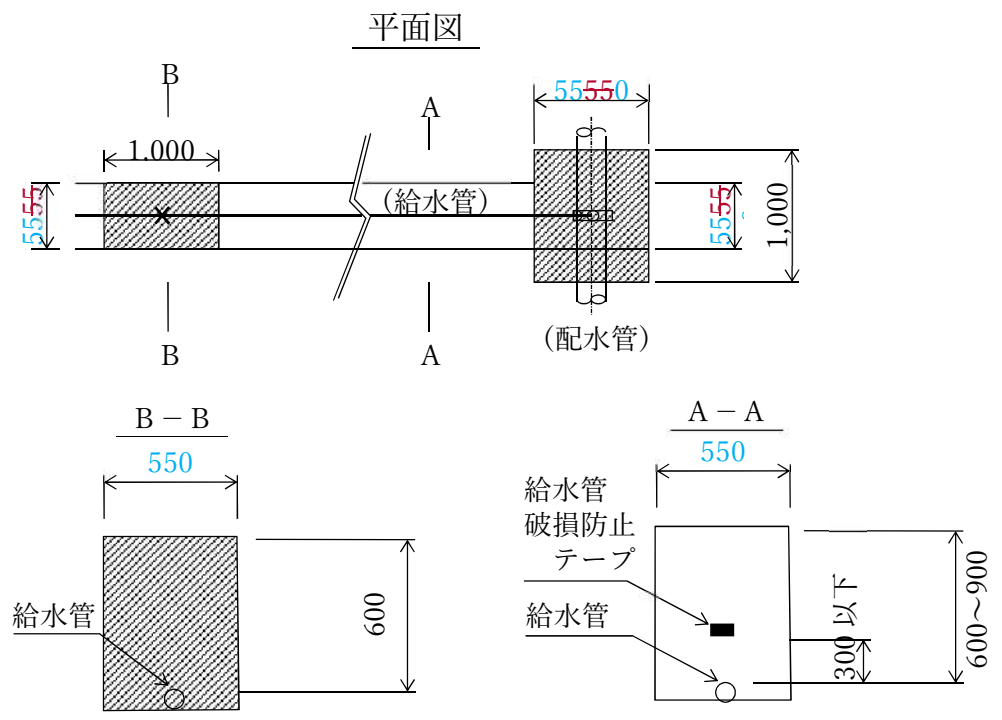
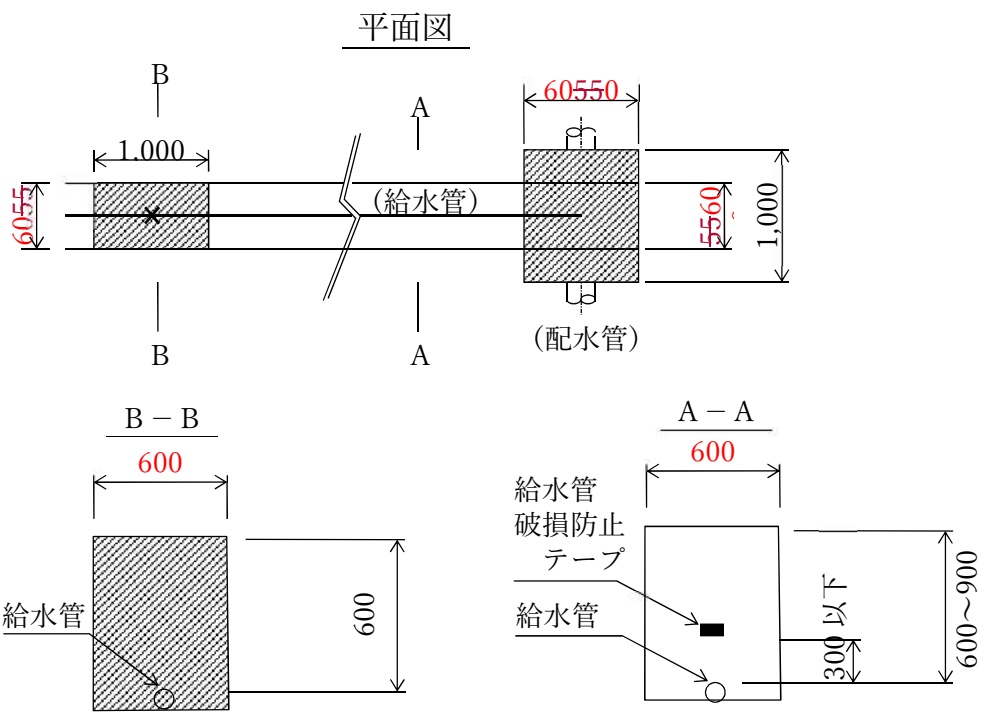


水道配管用仕様書 (R4.10) 新旧対照表

旧：改定前 (R4.4)	新：改定後 (R4.10)	改定内容等																																																																																																																								
<p>第4章, 標準図 第1節, 土工 4-1-1, 管路土工の標準掘削断面図</p> <p>1, 標準掘削断面 (φ 300 以下)</p> <table border="1" data-bbox="359 556 1136 1018"> <thead> <tr> <th rowspan="4">管径(mm)</th> <th colspan="3">直部</th> <th colspan="3">継手部</th> </tr> <tr> <th colspan="3">B(m)</th> <th rowspan="3">H(m)</th> <th rowspan="3">D(m)</th> <th rowspan="3">L(m)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">新設部</th> <th rowspan="2">取替 撤去</th> </tr> <tr> <th>GX形</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>50</td> <td>—</td> <td>0.55</td> <td>0.55</td> <td>0.60</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>75</td> <td>0.55</td> <td>0.60</td> <td>0.80</td> <td>0.80</td> <td>0.30</td> <td>0.50</td> </tr> <tr> <td>100</td> <td>〃</td> <td>0.65</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>150</td> <td>〃</td> <td>0.70</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>200</td> <td>0.60</td> <td>0.75</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>300</td> <td>0.70</td> <td>0.85</td> <td>〃</td> <td>0.90</td> <td>〃</td> <td>〃</td> </tr> </tbody> </table>	管径(mm)	直部			継手部			B(m)			H(m)	D(m)	L(m)	新設部		取替 撤去	GX形	その他	50	—	0.55	0.55	0.60	—	—	75	0.55	0.60	0.80	0.80	0.30	0.50	100	〃	0.65	〃	〃	〃	〃	150	〃	0.70	〃	〃	〃	〃	200	0.60	0.75	〃	〃	〃	〃	300	0.70	0.85	〃	0.90	〃	〃	<p>第4章, 標準図 第1節, 土工 4-1-1, 管路土工の標準掘削断面図</p> <p>1, 標準掘削断面 (φ 300 以下)</p> <table border="1" data-bbox="1576 556 2353 1018"> <thead> <tr> <th rowspan="4">管径(mm)</th> <th colspan="3">直部</th> <th colspan="3">継手部</th> </tr> <tr> <th colspan="3">B(m)</th> <th rowspan="3">H(m)</th> <th rowspan="3">D(m)</th> <th rowspan="3">L(m)</th> </tr> <tr> <th colspan="2">新設部</th> <th rowspan="2">取替 撤去</th> </tr> <tr> <th>GX形</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>50</td> <td>—</td> <td>0.60</td> <td>0.60</td> <td>0.60</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>75</td> <td>0.60</td> <td>〃</td> <td>0.80</td> <td>0.80</td> <td>0.30</td> <td>0.50</td> </tr> <tr> <td>100</td> <td>〃</td> <td>0.65</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>150</td> <td>〃</td> <td>0.70</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>200</td> <td>〃</td> <td>0.75</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>300</td> <td>0.70</td> <td>0.85</td> <td>〃</td> <td>0.90</td> <td>〃</td> <td>〃</td> </tr> </tbody> </table>	管径(mm)	直部			継手部			B(m)			H(m)	D(m)	L(m)	新設部		取替 撤去	GX形	その他	50	—	0.60	0.60	0.60	—	—	75	0.60	〃	0.80	0.80	0.30	0.50	100	〃	0.65	〃	〃	〃	〃	150	〃	0.70	〃	〃	〃	〃	200	〃	0.75	〃	〃	〃	〃	300	0.70	0.85	〃	0.90	〃	〃	<p>掘削幅の変更</p>
管径(mm)		直部			継手部																																																																																																																					
		B(m)			H(m)	D(m)	L(m)																																																																																																																			
		新設部		取替 撤去																																																																																																																						
	GX形	その他																																																																																																																								
50	—	0.55	0.55	0.60	—	—																																																																																																																				
75	0.55	0.60	0.80	0.80	0.30	0.50																																																																																																																				
100	〃	0.65	〃	〃	〃	〃																																																																																																																				
150	〃	0.70	〃	〃	〃	〃																																																																																																																				
200	0.60	0.75	〃	〃	〃	〃																																																																																																																				
300	0.70	0.85	〃	0.90	〃	〃																																																																																																																				
管径(mm)	直部			継手部																																																																																																																						
	B(m)			H(m)	D(m)	L(m)																																																																																																																				
	新設部		取替 撤去																																																																																																																							
	GX形	その他																																																																																																																								
50	—	0.60	0.60	0.60	—	—																																																																																																																				
75	0.60	〃	0.80	0.80	0.30	0.50																																																																																																																				
100	〃	0.65	〃	〃	〃	〃																																																																																																																				
150	〃	0.70	〃	〃	〃	〃																																																																																																																				
200	〃	0.75	〃	〃	〃	〃																																																																																																																				
300	0.70	0.85	〃	0.90	〃	〃																																																																																																																				
<p>第4章, 標準図 第2節, 仮配水管・給水管付替 4-2-2, 給水付替の標準掘削断面</p> 	<p>第4章, 標準図 第2節, 仮配水管・給水管付替 4-2-2, 給水付替の標準掘削断面</p> 	<p>掘削幅の変更</p>																																																																																																																								

水道配管用仕様書 (R4.10) 新旧対照表

旧：改定前 (R4.4)			新：改定後 (R4.10)			改定内容等
第8章, 水道用配管材料 材料規格一覧表 2/2			第8章, 水道用配管材料 材料規格一覧表 2/2			
テープ類	水道管識別テープ 電送管識別テープ 給水管破損防止テープ 水道管破損防止テープ 電送管破損防止テープ	神戸市水道局規格	鉄蓋類	水道マンホール鉄蓋(φ600) 水道耐スリップマンホール鉄蓋(次世代型)(φ600)	JSWAS G-4 神戸市水道局承諾材料	
テープ類	水道管識別テープ 電送管識別テープ 給水管破損防止テープ 水道管破損防止テープ 電送管破損防止テープ	神戸市水道局規格	テープ類	水道管識別テープ 電送管識別テープ 給水管破損防止テープ 水道管破損防止テープ 電送管破損防止テープ	神戸市水道局規格	
ブロック・ボックス類	消火栓室ブロック 空気弁室ブロック 記録計室ブロック	神戸市水道局規格	ブロック・ボックス類	消火栓室ブロック 空気弁室ブロック 記録計室ブロック	神戸市水道局規格	
	水道用レジンコンクリート製ボックス	JWWA K 148 神戸市水道局承諾材料		水道用レジンコンクリート製ボックス	JWWA K 148 神戸市水道局承諾材料	
ダクタイル鋳鉄管継手用滑剤		JDPA Z 2002	ダクタイル鋳鉄管継手用滑剤		JDPA Z 2002	
ポリエチレンスリーブ		JWWA K 158 (粉体塗装管用)	ポリエチレンスリーブ		JWWA K 158 (粉体塗装管用)	
水道配水用ポリエチレン管		JWWA K 144	水道配水用ポリエチレン管		JWWA K 144	
水道配水用ポリエチレン管継手		JWWA K 145	水道配水用ポリエチレン管継手		JWWA K 145	
水道配水ポリエチレン管用 溶剤浸透防護スリーブ		PTC K 20	水道配水ポリエチレン管用 溶剤浸透防護スリーブ		PTC K 20	
水道配水用ポリエチレン管 メカニカル継手		PTC G 30	水道配水用ポリエチレン管 メカニカル継手		PTC G 30	
水道配水用ポリエチレン 挿し口付ダクタイル 鋳鉄異形管		PTC G 32	水道配水用ポリエチレン 挿し口付ダクタイル 鋳鉄異形管		PTC G 32	
水道用バタフライ弁		JWWA B 138 B 種 JIS キャップ左回り開 材質：FCD450 (弁箱・弁体・脚・キャップ) 塗装：内外面エポキシ樹脂粉体塗装 (操作機は水道用液状エポキシ樹脂塗料) 付属品：基礎ボルト・ナット、平座金 (SUS304 製)、仕様表示板 ※ ナット・平座金は焼付防止処理品とする	水道用バタフライ弁		JWWA B 138 B 種 JIS キャップ左回り開 材質：FCD450 (弁箱・弁体・脚・キャップ) 塗装：内外面エポキシ樹脂粉体塗装 (操作機は水道用液状エポキシ樹脂塗料) 付属品：基礎ボルト・ナット、平座金 (SUS304 製)、仕様表示板 ※ ナット・平座金は焼付防止処理品とする	

水道配管用仕様書 (R4.10) 新旧対照表

旧：改定前 (R4.4)								新：改定後 (R4.10)								改定内容等		
第8章 水道用配管材料 承諾業者一覧表 1/2									第8章 水道用配管材料 承諾業者一覧表 1/2									品名・規格追加
品名・規格	JWWA B 120. 内外面エポキシ樹脂粉体塗装。左回り開き。	JWWA B 103. 右回り開き。浅層埋設対応形。	JWWA B 137. 内外面エポキシ樹脂粉体塗装。2種。	JWWA B 126. 内外面エポキシ樹脂粉体塗装。浅層埋設対応形。左回り開。GF-RF。	神戸市水道局規格	神戸市水道局規格	神戸市水道局規格	アロック・ボックス	品名・規格	JWWA B 120. 内外面エポキシ樹脂粉体塗装。左回り開き。	JWWA B 103. 右回り開き。浅層埋設対応形。	JWWA B 137. 内外面エポキシ樹脂粉体塗装。2種。	JWWA B 126. 内外面エポキシ樹脂粉体塗装。浅層埋設対応形。左回り開。GF-RF。	神戸市水道局規格	神戸市水道局規格	神戸市水道局規格	アロック・ボックス	
承諾業者名	φ400以下(φ300以下のみ浅層埋設対応形)、2種	単口 2種	φ25、φ75 ※凍結防止形急速空気弁は、 鋼清水合金製作所のみが製作。	レバー式 ①φ75H=100 ②φ75H=150 ③φ100H=200 ④φ100*75H=150 ・キャップ式 ⑤φ75H=100 ⑥φ75H=150 ⑦φ100H=200 ⑧φ100*75H=150	①仕切弁鉄蓋改良1号 ②仕切弁鉄蓋改良2号 ③消火栓単口鉄蓋 ④空気弁単口鉄蓋 ⑤人孔鉄蓋 ⑥緊急栓鉄蓋 ⑦記録計鉄蓋 ⑧水道用円形鉄蓋 ⑨水道マンホール鉄蓋	管識別テープ①(水道管) ②(電送管) 管破損防止テープ③(水道管) ④(電送管) ⑤(給水管) ⑥(揚水管)	①消火栓フック(単口) 空気弁フック(単口) ②水道用レシコンクラー製ボックス(円形3号)		承諾業者名	φ400以下(φ300以下のみ浅層埋設対応形)、2種	単口 2種	φ25、φ75 ※凍結防止形急速空気弁は、 鋼清水合金製作所のみが製作。	レバー式 ①φ75H=100 ②φ75H=150 ③φ100H=200 ④φ100*75H=150 ・キャップ式 ⑤φ75H=100 ⑥φ75H=150 ⑦φ100H=200 ⑧φ100*75H=150	①仕切弁鉄蓋改良1号 ②仕切弁鉄蓋改良2号 ③消火栓単口鉄蓋 ④空気弁単口鉄蓋 ⑤人孔鉄蓋 ⑥緊急栓鉄蓋 ⑦記録計鉄蓋 ⑧水道用円形鉄蓋 ⑨水道マンホール鉄蓋 ⑩新電送路線人孔鉄蓋	管識別テープ①(水道管) ②(電送管) 管破損防止テープ③(水道管) ④(電送管) ⑤(給水管) ⑥(揚水管)	①消火栓フック(単口) 空気弁フック(単口) ②水道用レシコンクラー製ボックス(円形3号)		
興クボタ	○	○	○	①②③				○	○	○	○	○	①②③					
興栗本機工所	○							○										
興ハズ	○	○	○	①②③④⑤⑥⑦⑧				○	○	○	○	○	①②③④⑤⑥⑦⑧					
興清水合金製作所	○	○	○	①②③④⑤⑥⑦⑧				○	○	○	○	○	①②③④⑤⑥⑦⑧					
興清水鉄工所	○	○	○	①②③④				○	○	○	○	○	①②③④					
千代田工業興	○	○	○	①②③④⑤⑥⑦⑧				○	○	○	○	○	①②③④⑤⑥⑦⑧					
前澤工業興	○	○	○	①②				○	○	○	○	○	①②					
富士鉄工興	○	○	○	①②③④⑤⑥				○	○	○	○	○	①②③④⑤⑥					
宮部鉄工興	○	○	○	①②③④⑤⑥⑦⑧				○	○	○	○	○	①②③④⑤⑥⑦⑧					
角田鉄工興	○	○	○	①②③④⑤⑥⑦⑧				○	○	○	○	○	①②③④⑤⑥⑦⑧					
興牧村製作所	○	○	○					○	○	○	○	○						
清水工業興	○	○	○	①②③④⑤⑥⑦⑧				○	○	○	○	○	①②③④⑤⑥⑦⑧					
協和工業興	○	○	○	①②③				○	○	○	○	○	①②③					
園部重工業興					①③④									①③④				
日之出水道機器興					①②③④⑤⑥⑧⑨			②						①②③④⑤⑥⑧⑨⑩		②		
虹技興					①②③④⑤⑥									①②③④⑤⑥⑧⑨⑩				
興ダイヤモンド					①②③④⑤⑥⑦⑧⑨	⑤		①②						①②③④⑤⑥⑦⑧⑨	⑤		①②	

承諾業者一覧表 2/2									承諾業者一覧表 2/2									
品名・規格	JWWA B 120. 内外面エポキシ樹脂粉体塗装。左回り開き。	JWWA B 103. 右回り開き。浅層埋設対応形。	JWWA B 137. 内外面エポキシ樹脂粉体塗装。2種。	JWWA B 126. 内外面エポキシ樹脂粉体塗装。浅層埋設対応形。左回り開。GF-RF。	神戸市水道局規格	神戸市水道局規格	神戸市水道局規格	アロック・ボックス	品名・規格	JWWA B 120. 内外面エポキシ樹脂粉体塗装。左回り開き。	JWWA B 103. 右回り開き。浅層埋設対応形。	JWWA B 137. 内外面エポキシ樹脂粉体塗装。2種。	JWWA B 126. 内外面エポキシ樹脂粉体塗装。浅層埋設対応形。左回り開。GF-RF。	神戸市水道局規格	神戸市水道局規格	神戸市水道局規格	アロック・ボックス	
承諾業者名	φ400以下(φ300以下のみ浅層埋設対応形)、2種	単口 2種	φ25、φ75 ※凍結防止形急速空気弁は、 鋼清水合金製作所のみが製作。	レバー式 ①φ75H=100 ②φ75H=150 ③φ100H=200 ④φ100*75H=150 ・キャップ式 ⑤φ75H=100 ⑥φ75H=150 ⑦φ100H=200 ⑧φ100*75H=150	①仕切弁鉄蓋改良1号 ②仕切弁鉄蓋改良2号 ③消火栓単口鉄蓋 ④空気弁単口鉄蓋 ⑤人孔鉄蓋 ⑥緊急栓鉄蓋 ⑦記録計鉄蓋 ⑧水道用円形鉄蓋 ⑨水道マンホール鉄蓋	管識別テープ①(水道管) ②(電送管) 管破損防止テープ③(水道管) ④(電送管) ⑤(給水管) ⑥(揚水管)	①消火栓フック(単口) 空気弁フック(単口) ②水道用レシコンクラー製ボックス(円形3号)		承諾業者名	φ400以下(φ300以下のみ浅層埋設対応形)、2種	単口 2種	φ25、φ75 ※凍結防止形急速空気弁は、 鋼清水合金製作所のみが製作。	レバー式 ①φ75H=100 ②φ75H=150 ③φ100H=200 ④φ100*75H=150 ・キャップ式 ⑤φ75H=100 ⑥φ75H=150 ⑦φ100H=200 ⑧φ100*75H=150	①仕切弁鉄蓋改良1号 ②仕切弁鉄蓋改良2号 ③消火栓単口鉄蓋 ④空気弁単口鉄蓋 ⑤人孔鉄蓋 ⑥緊急栓鉄蓋 ⑦記録計鉄蓋 ⑧水道用円形鉄蓋 ⑨水道マンホール鉄蓋 ⑩新電送路線人孔鉄蓋	管識別テープ①(水道管) ②(電送管) 管破損防止テープ③(水道管) ④(電送管) ⑤(給水管) ⑥(揚水管)	①消火栓フック(単口) 空気弁フック(単口) ②水道用レシコンクラー製ボックス(円形3号)		
平山水工興					①③④⑥									①③④⑥				
日本鋳工興					①③④⑥									①③④⑥				
スズテック興					①④									①④				
北勢工業					①③④									①③④				
エル日昌興						①②③④⑤									①②③④⑤			
ヨツギ興						①②③④⑤									①②③④⑤			
東神工業興						①②③④⑤									①②③④⑤			
興吉田商店						①②③④⑤									①②③④⑤			
興関西水栓						①②③④⑤									①②③④⑤			
興喜工業興						⑤									⑤			
興イトーヨーギョー								①										①
興日本ネットワーク								①										①
興エスエス工業興					① ③④⑤⑥									① ③④⑤⑥				

水道配管用仕様書 (R4.10) 新旧対照表

旧：改定前 (R4.4)	新：改定後 (R4.10)	改定内容等
管工事完成図作成マニュアル (R4.04)	管工事完成図作成マニュアル (R4.10)	
<p>管工事完成図作成マニュアル</p> <p>2.一般事項</p> <p>(3) 完成図の新規作成・更新は、全て乙の費用負担にて行うこととするが、配管平面図の更新は下図作成完了後甲の配水課に設置しているパソコンを使用して行うものとする。なお、乙が作成する配管平面図の更新はマッピング更新実績のある図面作成業者に作成させること。</p>	<p>管工事完成図作成マニュアル</p> <p>2.一般事項</p> <p>(3) 完成図の新規作成・更新は、全て乙の費用負担にて行うこととするが、配管平面図の更新は下図作成完了後甲の北部水道管理事務所に設置しているパソコンを使用して行うものとする。なお、乙が作成する配管平面図の更新はマッピング更新実績のある図面作成業者に作成させること。</p>	文言修正
<p>管工事完成図作成マニュアル</p> <p>3.完成図面詳細</p> <p>1) 配管平面図</p> <p>乙は貸与を受けたメッシュ上に、CAD用パソコンを使用し、下図を作成する。工事により布設した位置にデジタルデータ (1/500管理図) を作成する。</p>	<p>管工事完成図作成マニュアル</p> <p>3.完成図面詳細</p> <p>1) 配管平面図</p> <p>乙は貸与を受けたCADデータ上に、CAD用パソコンを使用し、工事により布設した位置にデジタルデータ (1/500管理図) を作成する。</p>	文言修正
<p>管工事完成図作成マニュアル</p> <p>4.完成図作成方法</p> <p>(2) 管工事完成前に、乙は「管路情報管理システムデータ更新用借用願」にマッピング更新対象メッシュ番号と詳細図枠番号を明記して甲の監督員に提出する。</p> <p>(3) 甲の監督員から配管平面図・地形図・既存のA～D図のデジタルデータの複製 (USB等) とマッピングから出図した配管平面図 (地形図含む) ・A～D図を乙に貸与する。</p> <p>(4) 乙はデータ更新用下図及び、属性データ入力表 (別紙) を作成し、USB等で提出すること。提出するUSB等については、最新のウイルス定義ファイルでウイルスチェックを行い、提出するUSB等にウイルスチェック日とウイルス定義ファイルを記入すること。</p> <p>(5) 提出されたデータ更新用下図及び、属性データ入力表は、甲の監督員のチェックを受けること。</p> <p>(6) チェック後、乙は配管平面図以外のA～D図をCAD用パソコンを使用して作成すること。</p> <p>(7) 乙は配管平面図を作成するため、甲の配水課に設置しているパソコン (更新用e-Water) の使用予約を行い、配管平面図更新作業をして、甲の配水課で乙が作成した下図及び属性データの入力チェックを受けること。</p> <p>(8) A～D図の完成検査合格後、修正等がなければ甲の配水課より、更新データをメインサーバへ転送・更新する。</p> <p>(9) 乙は完成図書の一部として、下記「5.提出書類」を甲の監督員に提出すること。</p> <p>(10) 乙は完成検査後についても作成されたデータに誤りが発見された場合には、乙の責任によりデータ修正を行うこと。</p>	<p>管工事完成図作成マニュアル</p> <p>4.完成図作成方法</p> <p>(2) 管工事完成前に、乙は「管路情報管理システムデータ更新用CADデータ借用願」に必要事項を明記して甲の監督員に提出する。(メール送付可)</p> <p>(3) 北部水道管理事務所マッピング担当から配管平面図・地形図・既存のA～D図のデジタルデータの複製 (USB等) とマッピングから出図した配管平面図 (地形図含む) ・A～D図を乙に貸与する。</p> <p>(4) 乙はデータ更新用下図、属性データ入力表 (別紙) 及びA～D図を作成し、USB等で提出すること。提出するUSB等については、最新のウイルス定義ファイルでウイルスチェックを行い、提出するUSB等にウイルスチェック日とウイルス定義ファイルを記入すること。</p> <p>(5) 提出されたデータ更新用下図、属性データ入力表及びA～D図は、甲の監督員のチェックを受けること。</p> <p>(6) 乙は配管平面図を作成するため、甲の北部水道管理事務所に設置しているパソコン (更新用e-Water) の使用予約を行い、配管平面図更新作業をして、甲の北部水道管理事務所乙が作成した下図及び属性データの入力チェックを受けること。</p> <p>(7) A～D図の完成検査合格後、修正等がなければ甲の北部水道管理事務所より、更新データをメインサーバへ転送・更新する。</p> <p>(8) 乙は完成図書の一部として、下記「5.提出書類」を甲の監督員に提出すること。</p> <p>(9) 乙は完成検査後についても作成されたデータに誤りが発見された場合には、乙の責任によりデータ修正を行うこと。</p>	文言削除・修正

水道配管用仕様書 (R4.10) 新旧対照表

旧：改定前 (R4.4)	新：改定後 (R4.10)	改定内容等
<p>管工事完成図作成マニュアル</p> <p>管路データ入力</p> <p>⑧データ管理者</p> <p>6260=北センター</p> <p>6612=東部センター</p> <p>6613=中部センター</p> <p>6614=西部センター</p> <p>6615=垂水センター</p> <p>6630=浄水管理センター</p> <p>6636=北神浄水</p> <p>6640=上ヶ原浄水</p>	<p>管工事完成図作成マニュアル</p> <p>管路データ入力</p> <p>⑧データ管理者</p> <p>6230=東部水道管理事務所</p> <p>6240=西部水道管理事務所</p> <p>6260=北部水道管理事務所</p> <p>6630=浄水統括事務所</p> <p>6635=上ヶ原浄水事務所</p> <p>6636=千苺浄水事務所</p>	<p>データ管理者名・管理者番号修正</p>

以上